

No.5	呼吸器外科
QI	肺癌術後患者の肺炎発生率
分子	分母のうち、手術日以降に5日以上抗菌薬（注射に限る）が処方された患者
分母	<p>肺の悪性腫瘍で、「肺悪性腫瘍手術」「気管支形成手術輪状切除術」「肺切除術」「胸腔鏡下肺切除術」「胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術」のいずれかを施行し、手術日に抗菌薬（注射に限る）が処方された退院患者。</p> <p>ただし、以下の場合を除外とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1入院期間中に異なる手術日が2日間以上あるもの ・退院年月日-手術日≤ 5のもの
根拠	術後の合併症発症は、入院期間の長期化等の要因であり好ましいものではない。可能であれば、合併症の発症を0にすることが臨床上重要なため。（ガイドライン無し/済生会医療・福祉の質の確保・向上等に関する指標）
目標	<p>0%</p> <p>術後合併症は0にすべきと考えている。当科では以前より術後肺炎予防のために口腔外科に依頼して術前の口腔ケアを行ってきた。最近は周術期センターも整備され術後の疼痛コントロールも行われており、術後合併症予防の体制は整ってきている。4年前に1例肺炎があったが、以後は発症していない。今後も発生0を維持していきたい。</p>

